

蓮といえば日本では専ら仏事のイメージではありますが、ベトナムの国花としても有名でアジアの国々では神聖でもありながら昔からとても身近に使われてきたようです。その大きな葉を敷き葉としてお料理を盛ったり、食材がより美味しく戴けるということで、もち米をまいて粽にしたり魚や肉を包んで蒸し料理にと、とても重宝に使われています。写真にもあります様に、蓮の葉には表面に科学的な特性があるとかで、水がまるで流れ落ちる宝石のように見え、涼し気な青々とした葉が印象的です。実はこの機能は科学的にも解明されており、泥沼に咲く蓮は、こうして時折降りしきる雨や周辺の水分を利用し、葉に付く虫や泥を滑り落ちる水滴に絡ませて流し、いつも美しい姿を保つといわれています。ヒンドゥー教では最高に素晴らしい女性を「蓮女」というように、高貴で美しいという意味で使われる「蓮」、その神秘性に触れると「浄化」されるような有難いイメージを持つ人も多いでしょう。蓮の葉はサイズも直径10~15 センチほどの小さなものから様々な大きさがございますので、ご利用の際は用途に応じてお選びいただければと思います。